

川崎市地球温暖化防止活動推進センターだより



エコちゃんず通信 No. 42

2020. 6.30発行

エコちゃんず通信は、CCかわさき交流コーナーにある川崎市地球温暖化防止活動推進センターのニュースレターで年4回発行します

各区の取り組み

高津区 CCたかつ

川崎市地球温暖化防止活動推進センター主催や区内の各種イベントに積極的に参加しています。また全国一斉水質調査も実施しています。

中原区 CCなかはら～地球にいいことプロジェクト～

簡易的なエコポンチョ作り等の防災エコグッズ講座（ロジちゃんに防災エコグッズ）を主に防災訓練イベントに出展しています。また、中原区や川崎市地球温暖化防止活動推進センター主催のCOOL CHOICEに関連するイベントにも積極的に参加しています。

宮前区 宮前エコPPK

推進員それぞれが宮前区区域等で独自に行う活動と、主に「みやまえJUNCAN会議」と連携して映画『0円キッチン』の上映やサルベージパーティーの開催などの活動を行っています。推進員の独自の活動としては、「有馬オープンガーデンの会」や「有馬生涯学習センター（アリーナ）」での省エネ活動や公園での花植等があります。

幸区 CCさいわい

幸区主催「さいわい子どもエコフェア」への出展のほか、幸区提案型協働推進事業の実施、幸市民館市民自主企画事業等の開催により、親子で温暖化や環境について体験し学ぶ機会を提案しています。特に地元の企業や農家との連携により、地域資源を活かした環境体験学習は多くの方から支持を得ています。2014年「第3回スマートライフスタイル大賞」奨励賞受賞。

麻生区 CCあさお

麻生区内のイベントに積極的に参加しています。また、夏休み時期の見学会（2019年は恩廻公園調節池）を実施しています。麻生区クールアース推進委員会と協力団体としての相互協力もしています。

多摩区 多摩エコスタイルプロジェクト

多摩区の推進員は各自で環境活動に取り組んでいます。推進員3名が参加する当プロジェクトは今年4月から、これまでの組織を新たに任意活動団体として再スタート。引き続き、多摩区の商店会と連携して、エコポイントカードやマイ傘袋講座など、エコ（SDGs）活動を推進していきます。

夏休み自由研究週間中止

今年度の夏休み講座は、新型コロナウイルス感染防止を考慮してやむなく中止と致しました。本講座は、小学生を対象に「夏休み自由研究週間」と題し、毎年多くの方にご好評をいただいています。昨年度は、全26講座約1,200名の方にご参加いただきました。開催できないのは大変残念な判断ではありましたが、来年は更に充実した内容での再開を目指しておりますので、どうぞご期待ください。

川崎市地球温暖化防止活動推進センター「新型コロナウイルス感染防止対応」について

当センターでは、新型コロナウイルスに関連する緊急事態宣言発令に伴い、4月12日～6月2日迄を閉所対応と致しました。閉所中は、センターとしての窓口業務は一時休止ではありましたが、地球温暖化防止活動に向けての活動は継続。Instagramでの情報発信やネットを用いた推進員同士の情報交換をはじめ、関係者間でのコミュニケーションも積極的に図ってきました。今回の自粛中の情報交換のなかからも行動の工夫事例や、改めて環境に関する意見も寄せられました。

- ・飲食店のテイクアウト、プラゴミ増加の懸念もあり、お弁当持参で詰めてもらった。
- ・これから増やそうという時に、太陽光発電は海外メーカー優勢で残念。
- ・環境に資する産業に頑張ってもらいたい。
- ・風力発電メーカーにも再度頑張ってもらいたい。etc…

(一部抜粋)

詳しくはこちら



川崎市地球温暖化防止活動推進センターでは、Instagram等、様々なメニューで情報発信しています。

編集後記

新型コロナウイルスの感染防止を考慮し、1カ月半以上の閉所を伴った当センターですが、6月3日より通常開所をしています。まだまだ自粛は止むを得ない状況ではありますが、今後とも宜しくお願い致します。

発行：川崎市地球温暖化防止活動推進センター
〒213-0001 川崎市高津区溝口1-4-1
ノクティ2 11F 高津市民館内
電話：044-813-1313 FAX：044-330-0319
メール：office@kwccca.com
URL：<http://www.cckawasaki.jp/kwccca/>

※川崎市地球温暖化防止活動推進センターは、川崎市から指定を受けた認定特定非営利活動法人アクト川崎が運営しています。

【開室日】水曜日～日曜日 午前10時～午後5時

【閉室日】月曜日、火曜日、年末・年始、高津市民館閉館日

こんにちは！ CCかわさき交流コーナーです！

センター10年目と新しい社会の構築に向けて

新型コロナウイルスで考える気候危機

新型コロナウイルスは勝手に広がったわけではなく、人間の活動が広げたものである。山奥の動物の体内に共生していたウイルスが、何らかの経路で人間社会に持ち込まれたところから始まった（と言われる）。その後も、人から人へ、感染を広げている。

感染症の危機は「命」に直結する危機であり、今、経済活動と感染症対策のバランスを考えながら、試行錯誤しながら、行きつ戻りつ、全世界で対策が取られている。しかしながら、新しいワクチンが出て行き渡り、インフルエンザとのつきあいと同じような、新たな「人間とウイルスの共生」が生まれ限り、「危機」は続く。また、別のウイルスを掘り起こさないように、「野生」に踏み込まないという「自然保護」の徹底も必要である。

地球温暖化、気候変動がもたらす「危機」。毎年暑くなる「夏」、台風による水害、農作物への影響、海面上昇による海岸浸食・高潮、スキー場の雪不足、等。この「危機」も化石燃料を使い続けている人間の活動が招いたものである。2050年二酸化炭素排出ゼロが求められながら、出来ていない。こちらの危機は、現在でも被害をもたらす、これからの被害が大きくなる、将来世代への負の遺産でもある。

コロナ危機、気候危機という2つの危機への対応は共通することもある。また「気候変動対策をコロナ後の経済復興の中心に据えよう」とする「グリーンリカバリー」という動きも始まっている。2つの危機に対応する「新しい生活様式」「新しい社会の構築」に、10年目を迎えた川崎市地球温暖化防止活動推進センターも取り組んでいきたい。



川崎市地球温暖化防止活動推進センター
センター長 竹井 齋

KWCCCA activのご紹介



川崎市地球温暖化防止活動推進センターでは、家にいながら環境活動や仲間づくりができるウェブサイト KWCCCA activを開発しました。

いろいろなテーマグループや各区プロジェクトの活動がわかります。初めての人でも気軽に参加でき、地域の仲間とつながります。

住みよい地球・川崎へ向かって“すぐできる”KWCCCA activ にチャレンジしてみませんか？

KWCCCA activの特徴

- 一人で参加できる（Webコミュニティコンテンツ）
- 仲間づくりができる（活動グループの情報）
- 自宅から参加できる（リモートプログラムの紹介）
- 住んでいる地域へ自信が深まる（各区の活動）
- センターが身近になる（貸出図書予約）



<https://kwccca2020.wordpress.com/>

こどもエコちゃんずクラブ オンラインで始動！

「コロナ禍」の中、5月17日（日）オンラインで集まって、ようやく、新年度の顔合わせ。久しぶりに「お顔」が見え、笑顔いっぱい。毎年宮前区初山での田植えには有志参加で、飛森谷戸の自然を守る会の皆さんにお世話になりました。開校式は6月14日@小黒恵子童謡記念館。ドクダミ、シロツメクサを持参の図鑑を調べて、それぞれの図鑑の違いも学んだ植物観察会となりました。



プロジェクトの紹介

川崎市地球温暖化防止活動推進員からなる各プロジェクトと当センターでは、環境出前授業やイベントへの参加や環境講座の開催等様々な活動を行っています。活動参加やご質問等は、当センターでもお受けしています。

設立
1998年

～グリーンコンシューマーになって STOP! 地球温暖化～ グリーンコンシューマーグループかわさき



■活動内容

SDGs目標13の気候変動に具体的な地球温暖化防止活動として、グリーンコンシューマー10原則を基本に、日常生活の中で身近にできるエコライフとSDGsの目標12である「作る責任、使う責任」として、エシカル消費の啓発活動を行っている。

- ・グリーンコンシューマー（環境に配慮した消費者）の普及
- ・環境出前授業や各種ワークショップの開催
- ・1店1エコの普及
- ・家庭の食品ロス対策「Mottainai/パーティー」の開催
- ・2020年度は食品ロス対策の講演会や、DVDでエシカル消費を学ぶティータイムの連続講座を開催予定 <http://wcb-k.jp/gcgkawasaki/>



エコ暮らしフェアでのマイバッグづくり

設立
1999年

ソーラーチーム ～市民の力で自然エネルギー推進～

■活動内容

地球温暖化防止、将来のエネルギー確保、持続可能な社会を作るために、また、停電等の災害時にも役立つエネルギーとして、自然エネルギーの必要性を多くの人に知ってもらい、太陽光発電や太陽熱利用等を設置する人を増やしていく活動をしています。

- ・自然エネルギーの普及啓発
- ・小中学校での環境出前授業
- ・子供向けや大人向けの工作教室等開催

<http://solarteam.html.xdomain/index.html>



自然エネルギー普及啓発活動



出前授業
ソーラークッキング



鏡紙で作った
ソーラークッカー

設立
2001年

省エネグループ ～地球にECO (いーこ) としよう～

■活動内容

川崎市民へ省エネ意識とエネルギー問題を中心に、SDGsの理念を取り入れた普及啓発を行うことにより、地球温暖化防止に寄与しています。

- ・市内児童を通して一般家庭の省エネの普及啓発の推進
- ・市内小中学校向けの環境出前授業の実施
- ・地球温暖化防止に関する環境学習の推進
- ・他主体と協同による省エネの普及啓発推進

<http://www.kawasaki-syoene.com/>



クリップモーター工作



小学校出前授業



中学校出前授業



設立
2013年

～まぜればごみ 分ければ資源 3Rを推進しよう～

3R推進プロジェクト

■活動内容

川崎市のごみ分別の普及啓発を市民サイドから進めつつ、循環型社会の構築に向けた取組みを推進している。まずは廃棄物に興味を持ち3Rを理解してもらうことを目標に、「川崎のごみ事情」のほか「食品ロス」「マイクロプラスチック」の課題などを紹介し、ごみの出ない社会を目指して活動を展開。

- ・市内小中学校への環境学習支援
- ・町内会や自治会への環境講座の実施
- ・廃材等を活用した工作教室やイベントへの出展



子ども未来フェスタに参加したスタッフ



なかいはら子ども未来フェスタ



高津区子ども・子育てフェスタ

設立
2015年

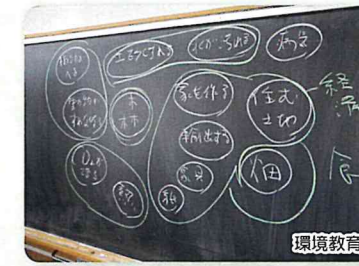
～気候変動・SDGsの学びを!!～

環境教育学習プロジェクト



環境教育

環境教育学習プロジェクトでは「こどもエコちゃんずクラブ」活動のほか、新しい出前授業プログラム作りも行っています。今、IGES（公益財団法人地球環境戦略研究機関）のカーボンフットプリント（炭素の足跡）研究と連携して、毎日の生活で住、エネルギー、食、買物、交通の分野で「これを変えれば、二酸化炭素排出量はこれだけ減る」を学ぶプログラムを何回か、実際に出席授業しながら、作っています。また、SDGsと一緒に学ぶプログラム作りにも取り組んでいます。



環境教育



設立
2017年

～生物多様性かわさき戦略のビジョンに向けて～

川崎たねだんごプロジェクト



■活動内容

「生物多様性かわさき戦略～人と生き物つながりプラン～」に示される「2020年に将来ビジョン」の実現に向けて、植物に親しむイベントを通して市民の生物多様性への理解と自然保護への行動に繋げる活動をしています。

- ・自然の恵みに関する紹介イベント実施
- ・小黒恵子童謡記念館庭園の植物調査や整備、環境学習拠点としての市民の利活用促進
- ・生物多様性に関する普及・啓発活動

<http://web-k.jp/tanedango/>



種クライダー



小黒恵子同郷記念館花壇



樹木観察会

設立
2019年

～気候変動 地球温暖化防止につながる活動を身近なところから始める～

川崎サバイバル

■活動内容

地球温暖化に伴う風水害の激化や増加を生き延びる知恵や技術を研究し、成果を展開。

- ・防災⇒マンション浸水影響調査
- ・減災⇒ソーラークッキングやマイクロ風力発電、食用油ランプ等の推奨
- ・CO₂削減⇒スマートメーターブルーートの瞬時値活用による電力使用見える化検討

Facebook : 川崎サバイバル



マンション管理組合役員の方のご案内
2019年10月15日(月)19時、川崎市の西側で発生した台風による大雨で、大きな被害が生じました。高層ビルと知られていたマンションで、地下1階に設置された防災用貯水タンクの漏水が、最上階の住戸にまで届き、大きな被害が生じました。この漏水の原因は、漏水防止設備の不具合によるもので、漏水防止設備の不具合を早期に発見し、対応することが重要であると認識されています。この漏水の原因は、漏水防止設備の不具合によるもので、漏水防止設備の不具合を早期に発見し、対応することが重要であると認識されています。

漏水防止設備の不具合を早期に発見し、対応することが重要であると認識されています。この漏水の原因は、漏水防止設備の不具合によるもので、漏水防止設備の不具合を早期に発見し、対応することが重要であると認識されています。

漏水防止設備の不具合を早期に発見し、対応することが重要であると認識されています。この漏水の原因は、漏水防止設備の不具合によるもので、漏水防止設備の不具合を早期に発見し、対応することが重要であると認識されています。



環境フォーラム



スタッフ一同

川崎サバイバル-
マンション浸水影響調査のご案内